

鴨居地区

鴨居地区別計画推進委員会

地域 鴨居 1～7丁目、鴨居町

区の東側に位置し、北側に鶴見川を挟んで都筑区、南側は神奈川区、保土ヶ谷区に隣接する南北に長い地区である。地区北部には鴨居駅があり、駅を中心に商店街、医療機関が密集しており、南側には丘陵状に住宅地が広がっている。駅周辺は平地だが、他は起伏に富む地形。

地域ケアプラザをはじめ、障がい者の地域作業所、通所施設など福祉施設が多い。

<主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：鴨居小学校、緑小学校、東鴨居中学校（東本郷地区と共有）

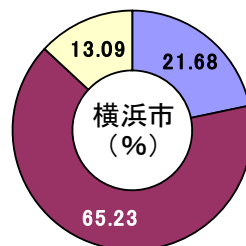
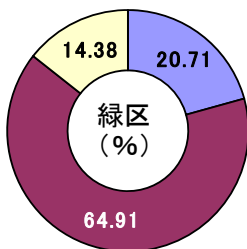
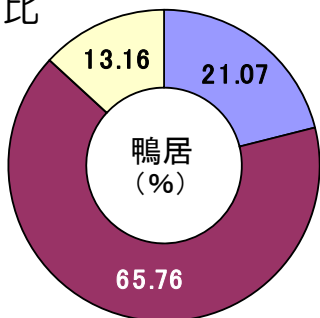
地域ケアプラザ等：横浜市鴨居地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

平成25年(2013年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)



75歳～	1,283人
65～74歳	1,956人
15～64歳	10,107人
6～14歳	1,248人
0～5歳	775人
合計	15,369人

75歳～	16,136人
65～74歳	20,748人
15～64歳	115,600人
6～14歳	15,912人
0～5歳	9,693人
合計	178,089人

75歳～	367,822人
65～74歳	437,068人
15～64歳	2,421,736人
6～14歳	296,135人
0～5歳	190,048人
合計	3,712,809人

地区別計画推進委員会の開催状況

第1回

平成25年6月15日

19:00～20:40

鴨居中央会館

- 推進状況報告
- 昨年度の取組み状況報告
- 今年度の取組確認

通信No.5発行

第2回

平成25年11月30日

19:00～20:30

鴨居中央会館

- 「黄色いリボン」「防災ささえあいカード」防災拠点3か所の交流の報告・意見交換

通信No.6発行



鴨居地区

安心・安全・健康なまちづくり!



「黄色いリボン」が知らせる安全

災害時に「我が家は大丈夫!」と周囲に知らせます。こうして、より迅速に近隣での助け合いや安全確保につなげることを目的としています。多くのみなさんが掲出訓練に参加し、理解が広がっています。

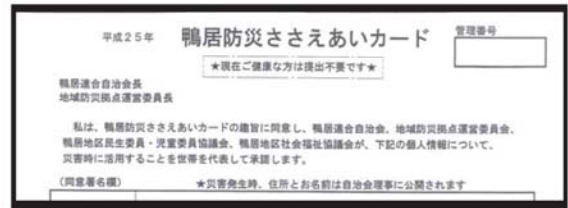


▲「黄色いリボン」と掲出訓練の様子



役員だけではなく、隣近所で確認しあえる仕組みづくりができないか検討が始まるなど、「黄色いリボン」を活用して地域の『つながり』『安全』を育てています。

▼鴨居防災ささえあいカード



「鴨居防災ささえあいカード」

災害等の避難時に、特別な支援が必要な方の情報を事前に把握しています。今年度は様式に変更を加え、工夫しながら進めています。



どんど焼き

みんなでかかわる地域の『つながり』づくり

子供から高齢者まで多くの方が参加できる地域の催しが数多く行われ、自治会活動の魅力を発信しています。

配食サービス



登下校見守り



若い世代が次の活動の担い手となれるよう、『つながり』づくりのための取組みを行っています。

人のつながりが活動の引き継ぎを円滑にし、若い世代へとバトンをつないでいきます。



鴨居地区別計画推進委員会



鴨居地区別計画推進委員会
平成25年8月発行 No.5

鴨居地区別計画推進委員会通信



鴨居地区別計画推進委員会を開催しました！



委員会の様子

平成25年6月15日(土)19時から 鴨居中央会館において、**平成25年度第1回「みどりのわ・ささえ愛プラン鴨居地区別計画推進委員会」**を開催しました。

委員会では、地域の役員の交代等を受け、今年度新たに4名の委員を迎え、まず、委員紹介の後、緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」と鴨居地区別計画の目標を、「平成24年度推進状況報告書」を用いて再確認し、共有を図りました。

続いて、昨年度の取り組みの状況を報告するとともに、今年度、鴨居地区で具体的に取り組む内容について、話し合いを行いました。

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられる緑区を目指し、区民・事業者・行政が協働で取り組む計画です。地区別計画は、平成23年度からスタートしました。

【鴨居地区別計画推進委員】

(6月15日現在)

赤柄忠昭 石田和子 ○板垣憲明 岡本幸美 織裳秀次
香川清次郎 加藤久子 狩野陽二 木村赴 木村武博
国井富栄 黒滝剛 小池邦仁 小原修 小宮山政行
齋藤恵子 酒谷英一 佐藤正和 島田敏夫 庄司登志子
千頭和乙彦 寺崎美紀 中野隆 中野玲子 廣野達衛
吉川晃 (上田真彦) (五十音順、敬称略、○委員長)

みどりのわ・ささえ愛プラン 鴨居地区別計画の目標

「『安心・安全・健康』のまちづくり」のために

防災ささえあいカードの有効な活用方法については、各自治会などで様々な検討がされているところです。これらを更に充実させることを目指します。



地域での『つながり』を大切に、地域における後継者を育成するために

既に地域の交流や情報の発信の取組が活発に行われているところです。今後は取組を継続的に進めることを目指し、誰もが参加できるイベントなどを通じて地域における担い手、後継者の育成を目指します。

平成24年度の取り組みを紹介します

(1) 黄色いリボン事業

自治会等が中心となり、「黄色いリボン」を災害時の安否確認に役立てることを目的とした鴨居地区独自の取り組みです。

24年度からリボンの掲出訓練や地域防災拠点の訓練で活用しています。

(2) 防災ささえあいカード

発災時にカードを有効に活用できるよう検討を行った結果、様式を一部変更しました。

鴨居福祉まつりで「黄色いリボン」事業のPRをしました！



平成25年度第1回委員会の検討内容

黄色いリボン事業について

○「黄色いリボン」事業とは

震災等の災害時における地域住民の安否確認の作業効率を上げ、いち早く地域住民の救助・避難・安全確保を行うことを目的とした、鴨居地区の独自の取り組みです。

○主な意見

- ・新規自治会加入者への「黄色いリボン」配布時の細かい事業説明が難しい。
- ・「黄色いリボン」を掲出していない世帯をどう確認していくか課題である。

防災ささえあいカードの取り組みについて

○防災ささえあいカードは、平成18年度から始まり、8回目の実施となります。

1月に様式を再検討し、ひとり暮らしの方も含め、支援を必要としない方は提出しないことにしました。今後事業を続けていくためにどのように活用できるか検討していくことになりました。

防災拠点3か所の交流について

○各拠点の訓練予定

- ・緑小防災拠点の防災訓練は10月6日に開催予定です。
- ・鴨居小、東鴨居中、東本郷小防災拠点では、合同防災訓練を9月1日に計画しており、今回も東鴨居中の生徒が課外学習で参加し、地域の理解を深める予定です。

災害時に無事を
周囲に知らせる
黄色いリボン



平成25年度の取組は…

- 「黄色いリボン」の掲出訓練は、各地区の実情に合わせ、地域に合った方法で工夫しながら実施していきます。
- 鴨居地区は、地域防災拠点の地区割りと小学校・中学校の学区が異なるところがあるため、円滑な安否確認に向けて情報共有の方法を検討します。

みんなでかかわることで、地域の「つながり」をつくりましょう

<連絡先> 鴨居地区別計画推進委員会事務局 緑区戸籍課内 TEL：930-2246



鴨居地区別計画推進委員会
平成26年1月発行 No.6

鴨居地区別計画推進委員会通信

鴨居地区別計画推進委員会を開催しました！



委員会の様子

平成25年11月30日(土) 19時から 鴨居中央会館において、平成25年度第2回「みどりのわ・ささえ愛プラン鴨居地区別計画推進委員会」を開催しました。委員会では、25年度の取組を確認後、各事業について、地区ごとに推進状況について報告しました。また、計画推進のため、今年度の具体的な取組について各地区から課題や事業推進の工夫、新しいアイデアなどの意見を出し合いました。



平成25年度の取組は…

- 「黄色いリボン」の掲出訓練は、各地区の実情に合わせ、地域に合った方法で工夫しながら実施していきます。
- 鴨居地区は、地域防災拠点の地区割りと小学校・中学校の学区が異なるところがあるため、円滑な安否確認に向けて情報共有の方法を検討します。

地区の活動を 発表します！

社会福祉大会 第二部
平成26年2月21日(金)
午後2時から
緑公会堂にて
ぜひお越しください

みどりのわ・ささえ愛プラン 鴨居地区別計画の目標

『安心・安全・健康』の
まちづくりのために

防災ささえあいカードの有効な活用方法については、各自治会などで様々な検討がされているところです。これらをさらに充実させることを目指します。

地域での『つながり』を
大切にし、地域における
後継者を育成するために

既に地域の交流や情報の発信の取組が活発に行われているところです。今後は取組を継続的に進めることを目指し、誰もが参加できるイベントなどを通じて地域における担い手、後継者の育成を目指します。

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられる緑区を目指し、区民・事業者・行政が協働で取り組む計画です。地区別計画は、平成23年度からスタートしました。

【鴨居地区別計画推進委員】 平成25年11月30日現在
石田和子 ○板垣憲明 岡本幸美 織裳秀次 香川清次郎
加藤久子 狩野陽二 木村赴 木村武博 黒滝剛 小池邦仁
小原修 小宮山政行 齋藤恵子 酒谷英一 佐藤正和
島田敏夫 庄司登志子 千頭和乙彦 寺崎美紀 中野隆
中野玲子 廣野達衛 吉川晃 渡部孝一
(五十音順、敬称略、○委員長)

平成25年度第2回委員会の検討内容



災害時に無事を
周囲に知らせる

黄色いリボン事業について

災害時における地域住民の安否確認の作業効率を上げ、近隣での助け合いにつなげるための、鴨居地区の独自の取組です。(平成23年度から取組開始)

取組状況

- ・地域防災拠点の訓練でリボンの掲出状況を確認したが、地域全体を見るのは時間がかかる。
- ・マンネリ化のためか、掲出率が下がってきた。
- ・自治会新規加入者には、班長からリボンを渡して説明しているが、周知が難しい。
- ・班長が名簿をもとに掲出状況を確認し、未掲出の家庭には声掛けを行っている。

課題

- ・自治会加入率の低い地域では、隣近所での助け合いが難しく、自治会が何とかしてくれると住民に期待されても対応しきれない。

効果

- ・班長がリボン掲出を確認するのと一緒に安否確認も行っており、高齢化が進むなか、実践的な取組で良い。
- ・班長は毎年入れ替わるが、交代により理解者が増え、取組が広がると思う。

まとめ

- ・鴨居地区では自治会ごとに地域性が異なり、黄色いリボン事業を統一的に推進するのは難しい。
- ・各自治会の判断により取組を行うこととするが、連合全体で情報交換を行い、工夫・改善しながら取組を継続したい。

鴨居防災ささえあいカード

災害時要援護者を把握するための取組です。

取組状況

- ・1月に様式を再検討し、「現在健康な方は提出不要」に変更したところ、要援護者数は310人となった。
- ・カード提出者の住所をマップに落とし、災害時に活用できるようにしている。

まとめ

- ・災害時には、民生委員だけ、自治会役員だけでは対応しきれないため、各班の班長と連携して活用できないか、継続して検討する。

地域防災拠点3か所の交流

取組状況

- ・鴨居小・東鴨居中・東本郷小地域防災拠点では、東鴨居中の生徒が参加し、合同防災訓練を9月1日に実施。
- ・緑小地域防災拠点では、10月6日に防災訓練を実施。

まとめ

- ・鴨居小・東鴨居中地域防災拠点では、東鴨居中学校と連携をすすめ、地域の人材育成につながるよう次回の訓練を計画。
- ・緑小地域防災拠点は鴨居中学校区で白山地区も含まれているので、今後どのように交流が可能か検討していきたい。

隣近所での助け合いには、日頃からの顔の見える関係づくりが大切です。鴨居地区の「つながり」づくりに向けた取組の一部をご紹介します。



▲ 鴨居福祉まつり (11月)



▲ どんど焼き (1月)

<連絡先> 鴨居地区別計画推進委員会事務局 緑区戸籍課内 TEL: 930-2246